

## 結 果 の 要 約

- 1 平成17年10月1日現在の高知県の人口は796,292人で、前回調査の12年に比べ17,657人、2.2%減少している。
- 2 人口を市町村別にみると、高知市が333,484人(県人口の41.9%)で最も多く、次いで南国市が50,758人(同6.4%)、四万十市が37,917人(同4.8%)となっており、最も少ないのは大川村の538人(同0.1%)となっている。
- 3 人口を男女別にみると、男性が374,435人、女性が421,857人で、女性が47,422人多く、人口性比(女性100人に対する男性の数)は、平成12年の89.3から88.8と低下している。
- 4 人口を年齢別にみると、15歳未満人口は102,421人(県人口の12.9%)、15~64歳人口は487,367人(同61.2%)、65歳以上人口は206,375人(同25.9%)となっている。これを平成12年と比べると、それぞれ、0.8ポイント低下、1.3ポイント低下、2.3ポイント上昇している。
- 5 15歳以上人口の配偶関係をみると、有配偶率は男性が61.1%、女性が52.9%、未婚率は男性が28.9%、女性が20.8%となっている。
- 6 県内に在住する外国人は2,927人で、平成12年に比べ498人、20.5%増加している。
- 7 高知県の一般世帯数は323,327世帯で、平成12年に比べ4,029世帯、1.3%増加している。また、一般世帯のうち1人世帯は102,702世帯(一般世帯の31.8%)と最も多くなっている。  
一般世帯の1世帯当たり人員は平成12年の2.47人から2.38人と減少している。
- 8 世帯の家族類型をみると、核家族世帯は183,673世帯(一般世帯の56.8%)で、このうち夫婦のみの世帯は68,725世帯(同21.3%)、夫婦と子供から成る世帯は82,869世帯(同25.6%)となっている。また、単独世帯は102,702世帯(同31.8%)となっている。
- 9 65歳以上親族のいる一般世帯は136,325世帯(一般世帯の42.2%)で、このうち「一人暮らし高齢者」(65歳以上の単独世帯)は40,918世帯(65歳以上親族のいる一般世帯の30.0%)、高齢夫婦世帯<sup>(注)</sup>は37,368世帯(同27.4%)となっている。  
(注) 夫が65歳以上、妻が60歳以上の夫婦1組の一般世帯
- 10 住居の状態をみると、住宅に住む一般世帯の持ち家率は66.0%で、平成12年に比べ0.4ポイント低下している。また、住宅に住む一般世帯の1世帯当たり延べ面積は、平成12年の91.5㎡から92.3㎡と広がっている。

図1 高知県の人口及び人口増減率の推移（大正9年～平成17年）

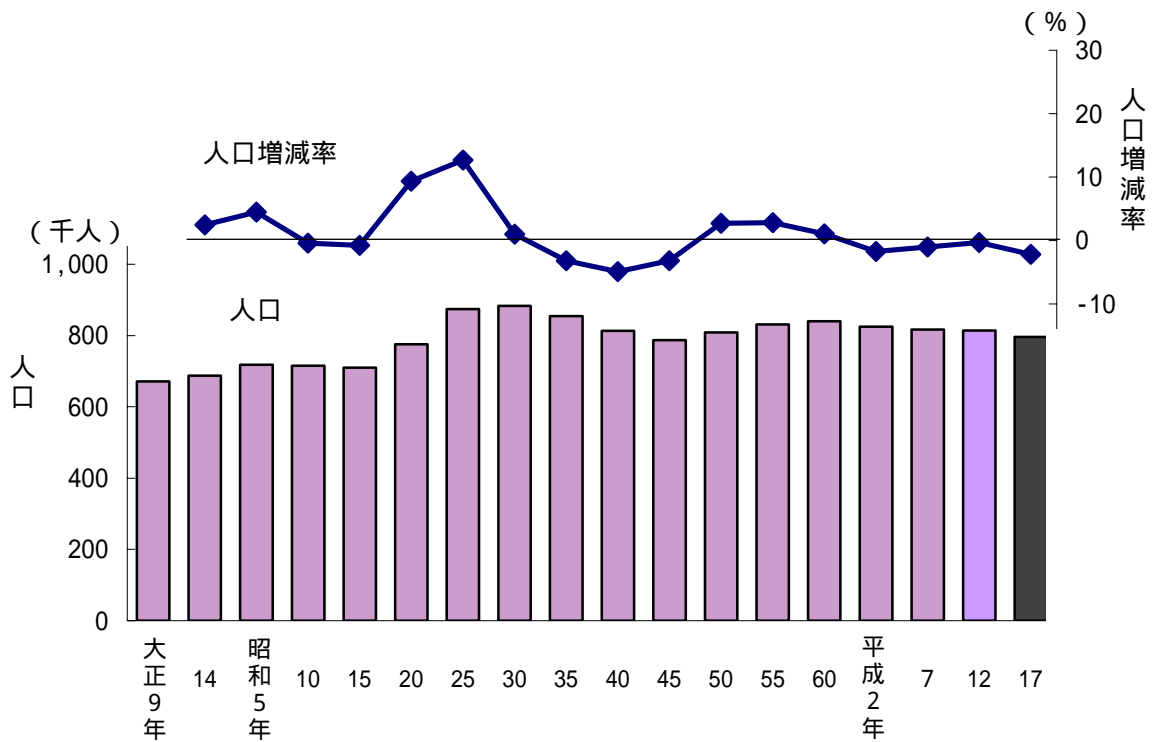


図2 高知県の年齢（各歳），男女別人口（平成7年・17年）

